

大声援の中、デットヒートを
繰り広げました



子どもたちの歓声が響き
渡っていました(雪祭り)



市民スキー大会(2月7日)

「第54回大館市民スキー大会」が開催され、選手たちが熱戦を繰り広げました。樹海ドーム語らいの森では距離部門が行われ、各選手は家族やチームメイトらの大きな声援を受け、一生懸命に力走しました。



縄ないを体験(ちびっこ冬まつり)

各地区で冬祭り(2月7日)

市内各地区で冬祭りが行われ、参加した地区の皆さんでにぎわいました。

早口地区では、早口一地域まちづくり協議会主催の「雪祭り」が早口一分館で行われ、約120人の親子連れが、餅つきやそり遊び、雪上綱引きなどを楽しみました。

また、二井田地区の二井田公民館では「ちびっこ冬まつり」が行われ、地区のお年寄りと子どもたちが、縄ないやキールダー作り、おはじきなどで交流の輪を広げました。

果敢な滑りを披露した大回転



また、大滝温泉スキー場では、大回転競技とスノーボード競技が行われ、好タイムを狙う選手たちが日ごろの練習の成果を思う存分に発揮して速さを競い合いました。

今年も豊作になるように



雪中田植えで豊作祈願(2月11日)

比内町中野の高齢者センターで、地区に伝わる小正月行事「雪中田植え」が行われました。

地区の皆さんが見守る中、菅笠すげがさに「みの」を着用した立石一さんと阿部調一郎さんが、しめ縄しめなわを張った雪の田んぼに稲わらと豆殻を植え、豊作を祈願しました。

おひなさま展(2月13日)

郷土博物館では、毎年恒例の「おひなさま展」が開かれています(開催は3月22日まで)。

会場には、市内各所から集まった段飾りのおひなさま十数組のほか、享保雛きやうほうひなや押絵雛おしえひななどが多数飾られ、訪れた人達の目を惹きつけています。



ずらりと並んだ色鮮やかな押絵雛

押絵雛は、厚紙に綿を乗せてその上から色鮮やかな布でくるむ押し絵と呼ばれる技法で作られた雛人形で、レリーフのような立体感があるのが特徴です。市内外からたくさんの方々が訪れ、色鮮やかで繊細に作られた時代ごとのおひなさまを熱心に観賞していました。

大館アメッコ市(2月13、14日)

この日にアメを食べると風邪をひかないと伝えられる冬の風物詩「大館アメッコ市」が開かれ、2日間で16万8千人が訪れました。

今年は天候に恵まれ、100店を超えるアメ屋などの露店が軒を連ねるおおまち八チ公通りでは、大勢のお客さんが色鮮やかなジャンボ枝アメの並木を歩いて、風邪封じのアメを買い求めています。



このアメおいしそう

会場では、からめアメのサービスや枝アメ作り体験コーナーのほか、白髭大神巡行しらひげのおおかみ、秋田犬パレードなどが行われ、アメッコ市に花を添えました。



たくさんの来場者の中を白髭大神が巡行

▶からめアメを「アーン」

